

認定試験 対策講習会 木曜クラス

第5回「文字コード / アナログとデジタル」

2005.5.19

本日の講習の流れ

- **講義**
 - 文字コード
 - アナログとデジタル
- **模擬試験**
 - (これまで学習した範囲の) 基礎知識科目
 - 基本操作科目

習得しておくべき知識・技術

- コンピュータが文字をどのように扱っているかについて理解する
- アナログ情報とデジタル情報の各々の特徴、両者の変換原理について理解する

資料

- テキスト
 - 第5回 > 文字コード / アナログとデジタル > 資料
> テキスト

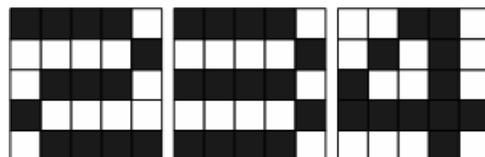
ちゃんと読めますか？

天気をコード化して伝達する

- 伝達する人同士で共通のコードを設定する

- 5枚×5枚のカードで数値の図を伝達する

25bit



- 本当に必要な情報は8種類が区別できること

— , , , , , , ,

3bit

コード	0	1	2	3	4	5	6	7
天気	晴れ	雨	雪	曇り	霧	嵐	みぞれ	雹

情報量の単位 : bite

- bite (バイト)
 - 1バイト = 8ビット
 - 256個の情報を区別できる情報量

接頭辞と単位

- 接頭辞
 - 1,024バイト(約1,000バイト)
1キロバイト(1KB)
 - 1,048,576バイト(約1,000キロバイト)
1メガバイト(1MB)
 - 1,073,741,824バイト(約1,000MB)
1ギガバイト(1GB)
- 参考
 - 情報技術基礎 テキスト - 付録C「単位」
 - http://ipl.sfc.keio.ac.jp/text/basic-2005-4/main_a_c3.html